

議会ウォッチ



ココに注目!

どうなる?宝珠山駅《9月定例会》

P2

歳出総額は前年と変わらず《令和4年度決算》

P5

ここが聞きたい《一般質問》

P8

表紙/コロナの先に(P15)

宝珠の郷 左から三笠部長・尾花施設長・伊藤次長

令和5年梅雨前線豪雨等による災害 今年中に被災箇所の査定を受ける予定

平成29年九州北部豪雨から6年、再び線状降水帯が村を襲い、甚大な被害が発生しました。9月定例会で、災害関連事業費総額8億6448万円が計上された補正予算を可決しました。10月以降には本格的に被災箇所の査定が行われます。

令和5年 梅雨前線豪雨等による災害 (8月30日現在)

	災害区分 (施設区分)	箇所数	工区数
1	公共土木施設災害 (村営河川)	28	63
	公共土木施設災害 (村道)	2	2
	計	30	65
<small>※上記の公共土木施設災害は、前査定★が終了し、11月に後査定を受ける予定です。 ★査定：補助事業に採択されるかを確認する国の実地調査 ※下記の2～5は、10月から12月末にかけて査定を受ける予定です。</small>			
2	農地災害 (田)		348
	農地災害 (畑)		62
	計		410
3	農業用施設災害 (ため池)		4
	農業用施設災害 (頭首工) ★河川から農業用水を取水する施設		14
	農業用施設災害 (水路)		90
	農業用施設災害 (農道)		20
	農業用施設災害 (農道の橋)		3
計		131	
4	林道施設災害	7	10
	計	7	10
5	地域防災がけ崩れ対策事業 ★がけ地が崩壊した箇所に、崩壊防止施設を整備 (激甚災)	2	2
	計	2	2
1～5 合計			618

他に下記の補助金などが予算化されています
村配布の「令和5年度 東峰村の補助金一覧」をご覧ください。(No)は補助金一覧の数字

- 災害家屋等解体撤去
- 農業機械・施設災害復旧
- 里山空間保全事業 (No.60)
- 小規模治山事業 (No.62)
- 農地災自力復旧 (No.63)
- 用水対策事業費 (No.65-1)

農林建設課
(電話:72-2313 宝珠山集落センター1階)

復旧・復興まで長い歳月を要すると思います。議会も事業推進を全力で支援していきます。
村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

災害対策室(電話:72-8011 宝珠山集落センター2階)



公共災害
天ヶ谷・宝ヶ谷線 (路肩崩壊)



農地災害
東 (山腹崩壊)



林道災害
林道竹布線

9月定例会は、9月11日から14日までの会期で開催しました。

6人の議員が一般質問をし、令和4年度決算 (一般会計・簡易水道特別会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)、令和5年度補正予算 (一般会計・国民健康保険特別会計) について審議を行いました。その他、専決処分2件、契約1件、宝珠山ふるさと村決算報告、そして、請願2件を慎重審議の上、原案通り可決しました。

誰でも楽しい! 県境の駅 ~宝珠山駅~ (東峰村BRT駅周辺整備計画基本構想でのコンセプト)

日田彦山線基金関連事業

宝珠山駅リノベーション* 1000万円
設計業務委託事業

宝珠山駅周辺整備測量事業 400万円

※リノベーション…既存の建築物に改修を加え、価値を高めること

予算質疑より
議員 設計費に対し本体工事の概算と補助金は。
担当課 リノベーション施工費は9000万円~1億円を見込んでいる。補助金は、日田彦山線基金と、それ以外は国・県補助を協議している。

東峰村には日田彦山線の駅が3つあります。BRT開業に伴い、周辺整備を行います。まずは、宝珠山駅から計画が進みます。

9月定例会で、補正予算が生まれ、宝珠山駅に関する内容がありました。

どうなる? 宝珠山駅

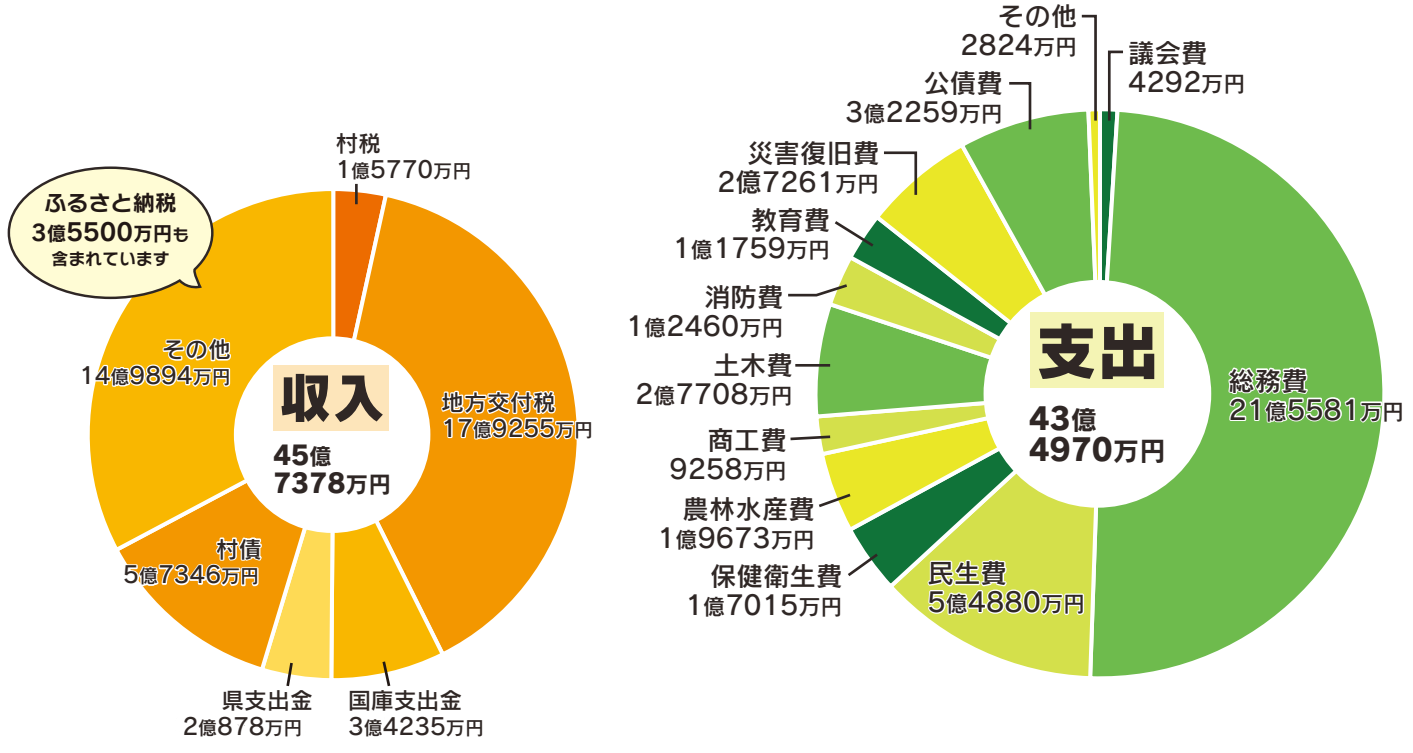


BRT停留所と整備予定地 (写真奥)



改装予定の駅舎

災害復旧費減も、新ほうしゅ楽舎建設等により
歳出総額は令和3年度と変わらず43億円台



ポイント1 日田彦山線基金の活用事業は

事業名	金額
BRT4駅周辺整備計画策定管理業務委託	568万円
大行司駅アクセス道設計業務委託(P7)	462万円
棚田親水公園駅アクセス道設計業務委託(P7)	304万円
災害伝承館整備計画策定業務委託(P6)	200万円



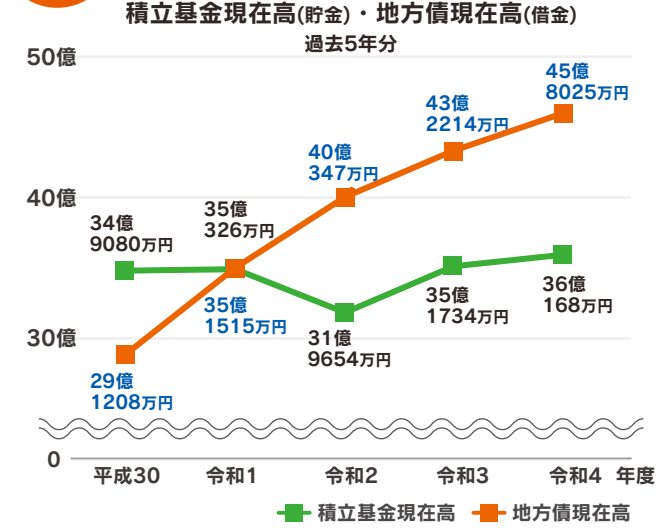
ひこぼしライン 開業記念式典

ポイント2 税の収納状況は

	収入済額	滞納額	徴収率	前年徴収率
村民税	6554万円	125万円	98.04%	97.61%
固定資産税	7869万円	284万円	96.39%	96.65%
軽自動車税	888万円	34万円	96.36%	97.11%
住宅使用料	2291万円	341万円	87.05%	83.82%
国保税	4525万円	477万円	90.41%	90.56%
水道使用料	3575万円	171万円	95.44%	96.01%

滞納分のうち、4年度は村民税6万円、固定資産税10万円、国保税3万円の計19万円を不能欠損として処理しました。

ポイント3 貯金と借金の状況は



第4回定例会(9月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川隆康	佐々木紀嘉	大蔵久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸	
補正予算	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第4号))(P2~3ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	可決	令和5年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について(P2~3ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	可決	令和5年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決算	認定	令和4年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定	令和4年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定	令和4年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定	令和4年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	可決	「地方財政の充実・強化に関する意見書」の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	可決	「少人数学級推進などの教職員定数改善」「義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ」に係る意見書の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	可決	工事請負契約の締結について(防災行政無線再整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告	令和4年度株式会社宝珠山ふるさと村決算状況報告について	報告議案のため採決は行いません									

令和4年度決算審査特別委員会議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	佐々木紀嘉	大蔵久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸
決算	認定	令和4年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について(P5~7ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和4年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について(P5~7ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和4年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について(P5~7ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	令和4年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について(P5~7ハ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

決算審査特別委員会質疑

棚田親水公園駅・大行司駅アクセス道事業は



議員

棚田親水公園駅と大行司駅アクセス道の2事業は実現しなかったが、測量設計委託料が両方合わせて766万円かかっている。実施するか否かをもう少し低予算で判断できなかったのか。

村長

どちらも測量と建設方法を検討する事業であった。棚田親水公園駅は現地測量と整備方針の検討・試算を行い、一番簡単なものでも1億2千万円程かかることがわかり事業自体を取りやめた。大行司駅は高齢者のバリアフリー化のための全体測量と、数種類の方法を検討している。

地域協働の村づくり基金の利用状況は



議員

村づくり基金は、毎年同じ内容でも続けて申請できるのか。

担当課

自主防災組織育成(上限20万円)と地域活性化事業(上限30万円)がある。その額内で、地区の合意があれば可能である。

議員

この基金で防犯灯の取り換えに使えるのか。



担当課

地区での新設や取り換えに関して、申請すれば対応する。電球からLEDへの取り換えも同様である。LED化した防犯灯

LED化した防犯灯

健康マイレージの目的は



議員

健康マイレージ事業のケーブルテレビ番組は誰向けで、何を目的としているのか。

担当課

全村民への歩き方指導。ランキングは、高齢者やスマホで確認できない方のために番組を作っている。

議員

この番組で利用度や、やる気が上がった等の把握をしているか。

担当課

歩き方の講習を見たとの声を聴くので一定の効果はあると考えているが、分析はしていない。来年度に向けて良い方法を模索していきたいと思う。

空き家バンクの登録推進は



議員

空き家バンクへの登録を進めるPRはどうしているか。ホームページの活用や空き家所有者と直接対話できないか。

担当課

固定資産税納税通知書の利用や、ホームページ・SNSで空き家バンク登録を紹介している。移住コーディネーターと協力し、直接対話する方法で登録促進に尽力していく。ホームページは今後改修し、村内の施設でも紹介していく。

文化財指定地の草刈りは



議員

次郎坊・太郎坊の草刈り作業5万円とあるが、年に何回しているのか。また、松尾城は。

担当課

次郎坊・太郎坊は、年1回実施。松尾城は、年2回しているが、回数を増やしていく方向で検討している。

事業効果をチェック

災害伝承館の今後は



議員

災害が頻発に起きる昨今、伝承館の果たす役割を、住民の防災意識を高める施設として発展させることが出来るのでは。

担当課

住民が防災を学ぶ場としても有意義。

議員

災害伝承館は現在の林業センターで継続するとのことで、いくつか改善点があがっているがトイレの整備がないのはどうしてか。

担当課

バリアフリー化は必要なので検討する。



災害伝承館

公営住宅家賃滞納はどうなっているか

議員

公営住宅家賃の滞納件数(5ページ参照)は、同じ方が滞納しているのか。

担当課

公営住宅の滞納額は、前年度までの累積額が56件295万円となっている。定期的に少しずつ徴収し、滞納分を減らしていく努力をしている。

移動販売車は週2回にできないのが



議員

移動販売車はなぜ火曜日が休みか。

担当課

委託先が火曜日を休みにしているため。

議員

週1回では主たる買い物手段にならない。火曜日を可能とし、方向性を広げられないのか。

担当課

週2回となると商品スペースや1日のスケジュール、委託先の人員、委託料も上がる。委託先とより良い方法を協議する。

災害前・発生時に使用可能な補助金が



議員

小規模治山事業補助金は、災害が発生した箇所のみ可能か。

村長

今年度から生活を守るために、事前に法面保護や、よう壁をしたい場合にも補助していくよう取り組んでいる。

議員

里山空間保全事業補助金は、災害時の支障木・土砂除去に使うことができるのか。

担当課

相談があればできるような話をしている。今後災害発生時に速やかにこの制度が使えるよう、担当課として村民に伝えていく。

移住相談の成果は



議員

移住相談件数は42件あるが、そのうち移住相談か、移住後の相談かの件数を把握しているのか。

担当課

幅広い相談を受けていて、その中で2件ほど移住に結び付いている。



被災したつづみの里農産物直売所

議員 とうほう百貨店が被災し、多くの村民が困っている。早期再開が出来るよう、スピード感をもって各段の支援はできないか。
村長 速やかに方針を決め動きたい。仮店舗等についても協議していく。

議員 村内の商店が次々と閉店する中で、とうほう百貨店は必要不可欠な施設。その再建に村の浮沈がかかっている。人口減少が続く村で、収益を出し、雇用を継続することは至難の技。生半可な村の支援では、再建・運営は極めて厳しい。ハード面の支援だけではなく、人的支援などソフト面の支援について、村長の考えは。
村長 具体的な支援の内容を再建協議の中で検討する。

議員 とうほう百貨店が被災し、多くの村民が困っている。早期再開が出来るよう、スピード感をもって各段の支援はできないか。
村長 速やかに方針を決め動きたい。仮店舗等についても協議していく。



国道に流れ出る砂防ダムからの濁流

議員 平成29年豪雨、新型コロナウイルスにより、商工業者は度重ねて融資を受けられている。県補助金のかさ上げ、クラウドファンディングの事務・決済手数料の補填、ふるさと納税のプロジェクト化等、村独自の支援策は。
村長 ①県の再建支援補助金はまだ要綱が示されていない。書類作成等の申請支援を商工会と連携して行うことを検討する。
②義援金については、県の義援金配分がわからないが、事業者、商工会、組合等の意見を伺い、検討する。
③クラウドファンディングについては、村からの発信に早速取りかかりたい。
④ふるさと納税については、特設ページの作成等、課内で検討している。

**砂防・治山ダムの
流末処理は**

議員 砂防ダムができて、その後や国道の暗きよ前で詰まるなど国・村道に溢れた場所が、6年前と同じ場所で見られる。村の対応は。

農林建設課長 治山・砂防施設から流れる小河川、道路下の暗きよ等の改善については、引き続き被災原因の調査の実施、改善についての予算等を確保していく。



樋口 朗 議員

とうほう百貨店・農産物直売所の再開支援は
——村長 責任をもって、建物の再建を進めていく



高橋 弘展 議員

村独自の商工業者再建支援策は
——村長 県補助金申請を商工会と連携していく

ここが聞きたい!

一般質問

令和5年東峰村議会第4回(9月)定例会

質問順	議員名	質問事項(色付きは記載事項)	ページ
1	ひぐち あきら 樋口 朗	国道211号大行司橋上流の宝珠山川災害復旧工事について とうほう百貨店・農産物直売所の再開支援について 村ホームページの充実・発展について	P9
2	たかはし ひろのぶ 高橋 弘展	令和5年7月豪雨について	P9
3	ささき たかし 佐々木 孝	豊かで安心できる森林づくりの推進について 砂防ダムと治山ダムについて	P10
4	たかくら みきえ 高倉 美紀恵	防災に関する取り組みについて	P10
5	わだ まさゆき 和田 将幸	7月豪雨災害について BRTの復旧について	P11
6	かじわら はくお 梶原 伯夫	鶴地区のう回路について 通行止め箇所の連絡について 今回の災害について 村立診療所について	P11

一般質問の詳細は
議事録をチェック!!





佐々木 孝 議員

豊かで安心できる森林づくりについて — 村長 山を守る観点から間伐を実施した

議員 治山事業としての取り組みとその成果は。

村長 災害前から山を育てる・守る観点から間伐を行ってきた。また、災害を受けた堆積木や流木の低減を行った。

また、今年度より間伐を行った場所で、筋工という伐採木で斜面を階段状化する工法を実施している。これで土壌の保水力の向上や流出防止が図れる。

議員 山の手入れが行き届いていないようだ。

農林建設課長 荒廃森林整備事業という事業で実施しており、これまでに間伐77ha、平成29年災害時の流木1554tの処理を行っている。

砂防ダムと治山ダムの違いは

議員 砂防ダムと治山ダムをわ

かりやすく説明できないか。

村長 見ただけでは違いがわからないが、どちらも下流域の土砂災害を防止するために設置されている。砂防は国交省、治山は農水省の管轄。簡単に言えば、砂防は河川にしかないし治山は山の窪地にある。

議員 治山ダムは土砂を除去しないのか。

農林建設課長 洪水発生時に、ダムに堆積した土砂が満杯になり、次の洪水で少しずつ下流に流していき、安定した勾配に戻っていく。基本的に土石の除去は行わない。



大山林道にある治山ダム



和田 将幸 議員

BRT専用道被災の原因は

— 村長 想定以上の雨による越流が原因と判断

議員 7月豪雨によりBRT専用道に被害が発生した。原因として、村の残土処理場・BRT専用道の排水に問題はなかったのか。

村長 残土処理場・BRT専用道の排水については問題ない。想定以上の雨が降ったことによる越流が、直接的な原因だと判断している。

議員 専用道における安全性の説明をJRに要望していたが1回も実施されていない。村長の考えは。

村長 JRからの説明が実現しなかったことについては、申し訳ないと思っている。

議員 被災箇所は早急に復旧したが、今後同様な雨量でも対応できるのか。



BRT専用道の被害後



復旧後

議員 雨量が以前に比べて増えているが、現在の雨量で対応できない箇所の調査をお願いしたい。

村長 今後の対策については考える。

議員 7月10日の豪雨では、避難指示発令は午前4時15分で、避難所開設も同時であった。蔵貫地区は、そのとき国道が川のようになり、避難所に行ける状況になく、その後土石流が発生し一時孤立した。平成29年の災害以降、高齢者は大雨・台風時に子どもやシヨートステイ等、早目の避難をして大事には至らなかった。そこで、自主的に早めに避難場所の確保ができないか。

村長 今回、午前2時30分災害警戒本部を設置、3時40分注意喚起の放送、4時15分避難指示を発令した。防災マップでは一時避難場所として、公民館や消防の格納庫、民家などを設定している。身の安全の確保、自分の命は自分で守ることを大切に



高倉 美紀恵 議員

早めの避難場所の確保ができないか — 村長 避難行動支援を今一度検討する

し、近場での避難行動の支援を制度化していたが、まだ活かされていない。今一度検討していく。



蔵貫地区の土石流箇所 (2カ月後)



地域防災マップ(蔵貫地区)



梶原 伯夫 議員

鶴地区う回路の早急な住民協議は

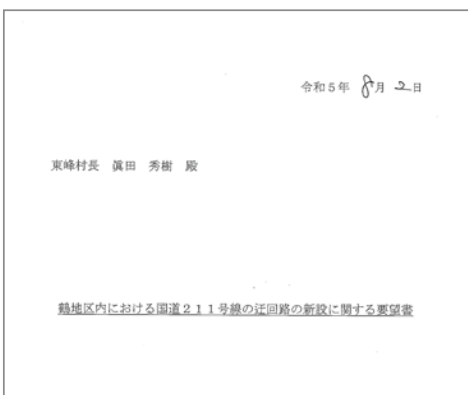
— 村長 協議検討は必要だが時間を頂きたい

議員 鶴地区のう回路について地区から出ている要望書の結果は。

村長 う回路を新設する要望だったので、地形やルート、費用等整備の可能性について検討する必要があります。今後検討すると回答している。

議員 以前要望した時は、ドローンによる地形調査をすると聞いたが、その結果は。

農林建設課長 ドローンでの測量を令和4年3月までに1度実施し、複数のルートを検討した。結果から現地等確認しているが、治山・砂防堰堤があり、洪水時には川の氾濫が見受けられる。安全も確保しながらルートを考え、実現の可否について協議する。



鶴地区のう回路についての要望書

総務常任委員会活動報告

委員長 大蔵久徳

教育現場のナマの声を聴く

子どもたちの

「未来を切り拓く力」

9月25日、東峰学園校長室において総務常任委員会5名と東峰学園の先生方(校長・副校長・教頭)及び東峰村教育委員会・指導主事と意見交換を行いました。

命館アジア太平洋大学との国際交流等、質問が相次ぎ、活発で意義ある意見交換となりました。

児童数減少への対応は

梶原校長先生から今年の学校教育目標である『郷土を愛し、豊かな人間性と「未来を切り拓く力」を身に付けた子どもの育成』を基にした教育方針を詳しく説明していただき、質疑応答を行いました。委員からはICT教育、学力・体力向上、部活の地域移管、複式学級、APU(立

特に気になるのが児童数の減少です。このままでは来年度から学年によっては複式学級となることが予想されます。村では移住・定住を推進していますが、急に児童数が増えることは難しく、複式学級は避けられない状況です。東峰学園では初めてのことで、学力はどうなるのか、対応できる

先生はいるのか、児童はもとより保護者への丁寧な説明と対応が今後必要だと思います。総務常任委員会は、教育委員の皆さんとの意見交換会を予定しており、最善策を模索していきたいと思えます。

「ここ数年のコロナ禍での学校運営においては並々ならぬご苦労があったと思います。」

『子どもは地域の宝』
これからも地域の皆さんとともに、子どもたちを見守り育てていきたいものです。

経済常任委員会活動報告

委員長 佐々木紀嘉

ライスセンターの

現状から考える

東峰村の稲作

7月に経済常任委員をメンバーとする「東峰村の農業の振興を研究する会」設置後、農業振興の現状を調査し、ライスセンター視察を行いました。

「東峰村の農業の振興を研究する会」では・・・

東峰村の水稲作付計画や水稲品種の更新に向けた検討などを協議し、水稲の付加価値を上げるために、土壌診断・食味分析鑑定コンクールなど協議しています。
農業の担い手不足や荒廃地化を防ぐための対策も村と協議しています。



7月のライスセンター視察の様子

1. ライスセンターの現状から考える 東峰村の稲作は?

ライスセンターでは、慢性的な職員不足で新たに農地受託することや、作業員(アルバイト)の高齢化で交代要員がないなどが問題化しています。施設自体も稼働8年目に入り、機械・機材には耐用年数を超えるものが出てきます。5年計画で2376俵に対し、現状4762俵となり、籾摺り機・色彩選別機的能力低下による予備機の必要性も出てきています。これが故障すると受付が出来なくなるため早めの対応が必要です。

2. 来年の梅干・漬物の制度 改正をどう乗り越える?

改正食品衛生法の施行で、漬物の製造販売が許可制になり、衛生的な製造施設などの整備が求められる為、経過措置が終わる2024年6月の完全実施までに、共同の加工所や個人・団体等の設備の補助等、村の農産物を守るために対策を協議しています。



東峰学園校長室で行われた意見交換会





意見交換会の様子

全議員への現況アンケートを実施 議員間・行政との情報共有が不足

全議員を対象とした議員定数および議会力アップに関するアンケートを実施しました。

6月の大正大学江藤教授による勉強会では、議員定数を検討していく前提として、東峰村議会の「議会力アップ」が必要であるとのアドバイスを受けました。そこで、東峰村議会及び議員の現状把握と、議員それぞれが考える「議会力アップ」について意見を聞きました。

その中で、現状についての項目では、「議案の採決までに、議員間や行政との情報共有及び協議が不足している等」の意見があがりました。今後、今回のアンケートを土台として、10月下旬に江藤教授による2回目の勉強会と、11月下旬に先進地視察として議会のあり方について住民とプロジェクトを行った議会を視察してまいります。

今後の協議の進め方

構想づくり
(令和5年度中)

←今はココ

住民向け構想説明及び
江藤アドバイザー講演会
(令和6年2月予定)

住民意見集約・素案作成
(令和6年度中)

議会改革案議決
(令和7年3月定例会)



9月27日に、パトリア日田にて、東峰村・添田町・日田市の議会広報委員会を中心として、総勢24名でBRTについての意見交換会を実施しました。

8月28日にJR日田彦山線が、6年前の災害からBRTで開通したご縁から企画しました。今回のテーマは、「BRTに乗り始めて感じたこと」や「BRTを活かしたまちづくり」について。私たちは当日、東峰村の各駅からBRTに乗り、添田駅まで移動後、添田町議会の方々と一緒に日田駅まで乗車しました。

約1時間程度の意見交換ではありましたが、生活から観光に至るまで様々な活用案等情報交換を行うことができました。また、今回で終わるのではなく、継続した情報交換を望む声もあがりました。

私たちも、隣の「まち」から見た「東峰村」を感じることができ、議会広報として今後のBRTについての取り組みを継続して発信していきます。

コロナの先に 最終回

特別養護
老人ホーム
宝珠の郷編



宝珠の郷
三笠則安部長(左)
伊藤宗治次長(右)

三笠則安部長・伊藤宗治次長に聞く
新型コロナウイルス感染症は5類に移行し状況も変わってきました。宝珠の郷は、感染拡大期からどのように対応されたかお尋ねします。

部長 開業から24年の中で、新型コロナウイルス感染症は初めての経験でした。一連の感染対策は嘱託医をはじめ職員の間識が高く徹底して行いました。しかし、2回のクラスターが発生したため、職員のシフト変更には大変苦慮しました。

この時活躍したのが、尾花施設長の提案により導入した、職員全員が携帯する「インカムシステム」と呼ばれる専用



職員全員が携帯するスマホ

スマホです。入居者の心拍・呼吸・眠りの状態等を管理することができ、業務の改善も図られました。
次長 雨量計を3カ所設置し、豪雨時に入居者は垂直避難します。高齢者等避難準備が発令されればデイサービスセンターが村の避難所になります。

コロナ以前に行っていたように地域の方々と交流を持ち、入居者が笑顔で暮らしていただけのように話されました。

広報委員が研修

8月29日、東京で開催された研修会に参加。九州・四国の7町の広報委員と一緒にした。

前半は、「議会報作成のフレームワーク（紙面の枠組み）」「読者を意識した編集」「情報の構造化」についての講義でした。その中でも見出しやリード文と言われる要点と、写真で伝える大切さを学びました。

後半では、8町村広報紙が個別に評価を受けました。私たちの「議会ウォッチ」が思いがけず高い評価をいただき、驚きと喜びで、さらなる紙面の充実を目指す意欲が湧きました。

取材にご協力いただいた村民の皆様、デザイナーの伊藤雅恵のりえさんのお陰です。

翌日、国会議員4名の事務所を訪問、災害復旧支援を要請しました。



町村議会広報クリニック



国会議員会館にて

ご意見やご感想をください!

議会広報紙について、皆様からのご意見・ご感想を募集しています



お問い合わせ先：東峰村議会事務局
電話 72-2311
FAX 72-2038

お詫びと訂正

議会ウォッチ8月号4ページの、新しい農業委員紹介の欄に、2カ所の間違ひがありました。

・誤（任期4年）

↓正（任期3年）

・高倉栄委員は再任でした
お詫びして訂正致します。

編集後記

再び襲った集中豪雨
長かった酷暑の日々
勇気を奮いおこし
甚大な被害から立ち上がり
復興を目指す多くのの方々
少しでも希望の糧になれるか
議会広報が果たす役割とは
自問しながらの編集でした。

「読みたくなる、わかりやすい紙面」をこれからも目指してまいります。

皆様のご意見をお願いいたします。

（樋口朗）

議会広報特別委員	高橋 弘展
委員長	佐々木 孝
副委員長	高倉美紀恵
委員	樋口 朗
	和田 将幸
発行責任者	伊藤 均